

ノリ養殖情報 (第 19 報)

令和 6年2月29日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

今回の調査は19回目です。

今年度は、10月中旬から3月下旬までに月に3～4回、合計23回の陸上調査を予定しています。

1. 調査結果

調査日: 2月26日(月) 天候:くもり 気温:12.3 (15:22 時点)

(今回(2/26)の水温等の測定時間帯 15:23～17:13) 前回と調査時間帯が異なります。

(前回(2/18)の水温等の測定時間帯 21:20～23:05)

調査点		水温		比重 15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月18日	今回	今回	前回 2月18日	今回	アカ	ツボ
1. 長崎鼻	支柱	12.1	11.5	19.9	6.8	/	17.7	/	/
2. 神代	支柱	12.2	11.7	20.1	13.3	0.8	22.9	++	なし
3. 大野浜	支柱	12.5	12.7	21.6	7.5	6.8	5.8	++	++
4. 半田	支柱	12.5	12.7	21.2	22.7	4.0	16.9	++	++
5. 三会	支柱	12.4	13.0	21.7	18.5	3.4	17.6	なし	++

長崎鼻の栄養塩、クロロフィルa値の調査は、隔週で実施します。

栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

主な植物プランクトン (単位:細胞/mL)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻			大型珪藻		
	スケルトネマ属	キートセロス属	ニッチア属	ユーカンビア属	リソソレニア属	コシノディスカス属
2. 神代	670	211	80	177	7	0
3. 大野浜	75	12	12	31	0	2
4. 半田	144	32	7	0	2	8

調査結果概要

- ・水温は、12.1 ~ 12.5 。 海水比重(15)は、19.9 ~ 21.7。
- ・漁場に設置している温度計の2月19日から2月26日迄の測定結果は、平均温度は11.6 ~ 11.8 で、昨年より1.6 ~ 2.1 高く推移しました。
- ・栄養塩は、6.8 ~ 22.7 $\mu\text{g-at/L}$ で、5観測点中4点でノリ養殖における期待値7.0 $\mu\text{g-at/L}$ を上回りました。
- ・あかぐされ病は神代・大野浜・半田で目視レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は大野浜・半田・三会で目視レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンは、スケルトネマ属(最大670細胞/mL)が優占していました。

2. 赤潮発生状況

福岡県: 有明海福岡県海域で珪藻のユーカンピア ソディアクス、リゾソレニア インブリカータ、スケルトネマ属による着色域を確認しました(2月26日)。

佐賀県: 筑後川河口域から太良町地先にかけて、大型珪藻(ユーカンピア)による赤潮が確認されています(2月26日)。

3. 他県の情報

福岡県: 2 ~ 3回目の摘採が行われています。アカは5調査点で確認され、すべて軽度でした。色落ちは13調査点で確認され、軽度が2点、中度が1点、重度が10点でした(2月26日)。

佐賀県: 摘採や活性処理、一部で網上げ等が行われています。アカは、12点中12点(流出直前5点、肉眼視レベル5点、顕微鏡レベル2点)確認されました。ツボは、12点中5点(流出直前1点、肉眼視レベル2点、顕微鏡レベル2点)確認されました(2月27日)。

熊本県: アカを22地点(23地点中)で確認しました。色調低下及び色落ちが全域で見られました。網上げ作業がベタ漁場及び生産不能網から行われています(2月22日)。

4. 本県の情報

浮き流し漁場と支柱漁場で摘採が行われています。

支柱漁場の一部で網上げ作業が始まりました。

ノリ網の検鏡結果

- ・あかぐされ病が3漁場で確認されました。
- ・壺状菌病が3漁場で確認されました。
- ・付着珪藻はリクモフォラ、タビュラリアが確認されました。
- ・葉長は40.4 ~ 161.5mmの範囲で、平均は49.8 ~ 107.1mmでした。